

## 活動紹介

### 清掃工場・埋立処分場見学と地盤環境研修会

#### (1) 開催概要

- ・ 研修名：清掃工場・埋立処分場見学と地盤環境研修会
- ・ 開催日：平成 30 年 11 月 14 日
- ・ 参加人数：12 名

#### (2) 研修内容

清掃工場や埋立処分場は、我々の生活から排出される廃棄物を適正な処理を行うという重要な役割を担い、このような取り組みにより我々の快適な生活が成り立っています。しかしながら東京 23 区の最終処分場の処理余年数は 50 年程度と推測されています。このような状況から、中間処理時の廃棄物の一層の減量化や、循環型社会形成に寄与するために我々排出者は 3 R の実践によるごみ排出量の減量化が必要不可欠となっています。

当研修では、港清掃工場及び粗大ごみや不燃ごみの中間処理施設、さらには中央防波堤外側埋立処分場を見学しました。港清掃工場では家庭などから排出されるごみの中間処理方法について、後者では中間処理工程にて減量化されたごみの最終埋立処分の状況について中央防波堤や新海面埋め立て処分場施設内で東京都の廃棄物の最終処理状況の見学を行いました。



公益財団法人東京都環境公社様による  
最終処分場の解説



東京 23 区最後の埋立処分場「新海面処分場」を  
中央防波堤処分場見晴らし広場より望む

見学会終了後は、研修会場に場所を移して1時間程度の講習会を行いました。見学会の会場となった東京湾についての話題提供を目的として、「東京湾の埋め立ての歴史」、「東京湾内埋め立て区域と廃棄物処分場」、「廃棄物地盤におけるトラブル事例」、「廃棄物地盤における地盤調査事例」、「環境保全に関する法体系」などの内容についての講習としました。

「清掃工場・埋立処分場見学と地盤環境研修会」資料

日時：平成30年11月14日（水） 9：15～16：00（予定）  
主催：一般社団法人 東京都地質調査業協会 技術委員会（環境部会）

【概要】

東京湾は首都圏の生活と産業を支える重要な役割を担っており、2020年の東京オリンピック開催を契機に、多くの人々が親しめる憩いの場、交流の場、あるいは、新しい都市づくりの場として、埠頭の再開発や広大な埋立地の開発が日々行われています。今回は東京湾岸地域の地形・地質、埋め立ての歴史、廃棄物処理、土壌環境といった幅広い地盤環境に関する内容を知ると共に、首都圏における廃棄物問題の解決と循環型社会への変革に向けた取り組みを学びます。

【資料】

資料	頁
① 東京湾の埋め立ての歴史	2
② 東京湾内埋め立て区域と廃棄物処分場	5
③ 廃棄物地盤におけるトラブル事例	7
④ 環境保全に関する法体系	8
⑤ 廃棄物地盤における調査事例	10
⑥ 東京湾岸埋立地・豊洲の土壌汚染対策	11

○清掃工場・埋立処分場見学と地盤環境研修会の見学スケジュール

9時20分	集合	東京テレポート駅（りんかい線）
9時30分	出発	大型バスに乗車
10時00分	学習	清掃工場
12時00分	昼食	テレコムセンタービル（各自）
13時30分	学習	環境学習（環境局中防合同庁舎）
14時00分	見学	中央防波堤外側埋立処分場・廃棄物処理施設
15時00分	解散	東京テレポート駅

出典：公益財団法人 東京都環境公社 HP  
<https://www.tokyokankyo.jp/kengaku/ecotown.html>

■講習会資料の抜粋